

HSBC ブラジル・インフラ株式オープン

追加型投信/海外/株式

2011年7月版
販売用資料



お申込みの際は最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

設定・運用は

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号
加入協会 / (社)投資信託協会
(社)日本証券投資顧問業協会

HSBC 
Global Asset Management

当ファンドの特色

ブラジルの株式等に投資します。

「HSBC ブラジル・インフラ株式マザーファンド」(「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、以下の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

- ▶ ブラジルのインフラ関連企業の株式
 - ▶ ブラジルのインフラにかかわるブラジル以外の国の企業の株式
 - ▶ 投資対象企業のADR(米国預託証券)やGDR(グローバル預託証券) 等
- ※預託証券とは、ある国の発行会社の株式を海外でも流通させるために、その会社の株式を銀行等に預託し、その代替として海外で発行される証券のことをいいます。

新興国市場の有価証券は一般的に先進国の有価証券と比較して値動きが大きいいため、基準価額の値動きも大きくなる傾向があります。

主として、ブラジルのインフラに関連する企業の株式の中から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

インフラとは

インフラストラクチャーの略で、道路、鉄道、港湾、空港、灌漑、電力、通信、不動産、住宅建設など、経済発展のために不可欠な社会基盤のことです。

運用委託契約に基づいて、HSBCグループの一員であるHSBC バンク ブラジル エス エイー Banco Múltiploにマザーファンドの運用の指図に関する権限を委託します。

年1回決算を行い、分配を行う予定です。

- ▶ 年1回の決算時(毎年4月10日、休業日の場合は翌営業日)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

為替レートの変動により基準価額は変動します。投資対象資産の通貨に対し円高になった場合、基準価額が下落する要因となります。

ファミリーファンド方式で運用します。

- ▶ ファミリーファンド方式とは投資者の投資資金をベビーファンド(当ファンド)としてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用を行う方式です(ベビーファンドがマザーファンドに投資する際のコストはかかりません。)

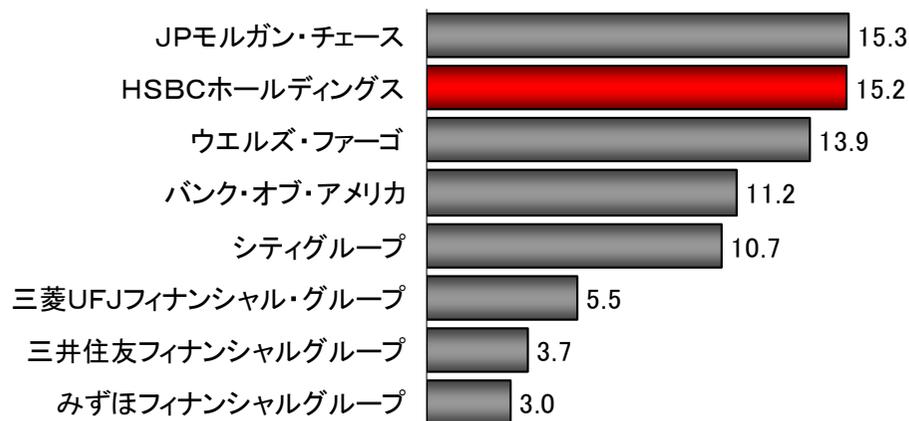


市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

HSBCグループは世界有数の金融グループです

OECD諸国主要金融機関の時価総額

(2011年3月31日現在 単位:兆円 1米ドル=83.15円で換算)



出所:ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

HSBCグローバル・アセット・マネジメント拠点網



- ▶ HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングスplcは英国に本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる87の国と地域に7,500を超える拠点を擁し、2010年12月末現在2兆4,550億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。
- ▶ HSBCグループはユーロマネー誌の2010年ベスト・エマージング・マーケット・バンクを受賞、他20部門で最優秀金融機関に選ばれました。
(出所: Euromoney, July 2010)

- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントは、HSBCグループに属する資産運用会社の総称です。
- ▶ ロンドン、パリ、ニューヨーク、サンパウロ、香港、シンガポール、ムンバイ(ボンベイ)、東京等、世界30以上の国と地域に拠点を有しています。
 - 先進国のみならず新興国までカバーし、全世界の地域、資産を対象とするグローバルな運用体制
 - 新興国市場や地域に特化したファンド、業種特化型ファンドに強み
 - 運用資産約36兆円※
※ 約4,435億米ドル(1米ドル=81.49円で換算、2010年12月末現在) HSBCグループの資産運用会社全体の資産総額。
- ▶ HSBC投信株式会社はHSBCグローバル・アセット・マネジメントの一員であり、新興国市場で強みを発揮するとともにグローバルな運用を行っています。

上記は、当資料作成時現在知りうる情報であり、今後変更となることがあります。

ブラジルにおけるHSBCのネットワーク

- ▶ 1976年、ブラジルで銀行業務を開始
- 1997年、バメリンダス銀行を買収
- 1999年、HSBCバンク ブラジル エス エイ - Banco Múltiploに改称
- ▶ 国内民間銀行として有数の規模
 - 拠点数:約1,350
- ▶ ブラジルにおける資産運用業務
 - 1979年ブラジル株式の運用を開始
 - 外資系でトップクラスの規模



HSBC バンク ブラジル エス エイ - Banco Múltiploの本店

上記は、当資料作成時現在知りうる情報であり、今後変更となることがあります。

ブラジルインフラ投資の魅力

- ▶ 成長軌道に乗った経済
 - ①さらに期待される経済成長
 - ②信用力が向上
 - ③個人消費が成長を牽引
- ▶ インフラ投資の拡大
 - インフラ整備と新興国の経済成長
 - インフラ整備は経済成長のための重要課題
 - 大型インフラ投資計画
 - ①成長促進プログラム、輸送網
 - ②エネルギー
 - ③サッカーワールドカップ、オリンピック

ブラジルの概況

国名：ブラジル連邦共和国 (República Federativa do Brasil)

- － 1822年ポルトガルより独立
- － 1889年共和制樹立
- － 大統領制、議会は上院・下院の二院制

面積：851万平方キロメートル（日本の約22.5倍、世界第5位）（出所：外務省）

人口：2億343万人（世界第5位、2011年推計値）（出所：U.S. Census Bureau International Data Base）

経済：実質GDP成長率：7.5%（2010年）← -0.6%（2009年）

名目GDP総額：2兆898億米ドル（2010年）（出所：ブラジル中央銀行）

世界第7位（2010年）（出所：IMF World Economic Outlook Database (April 2011)）

首都：ブラジリア 他の主要都市・・・サンパウロ、リオデジャネイロ、マナウス など

公用語：ポルトガル語

宗教：主にキリスト教

通貨：レアル（1レアル＝約52.26円、1米ドル＝約1.58レアル）

（出所：レアル/円レートは投資信託協会、米ドル/レアルレートはブルームバーグ 2011年4月末現在）

注目点：－ 海外最大の日系人社会（約150万人）

日本とは古くから親密な関係（1908年からブラジル移住開始）

－ 2014年サッカーワールドカップ開催国に決定

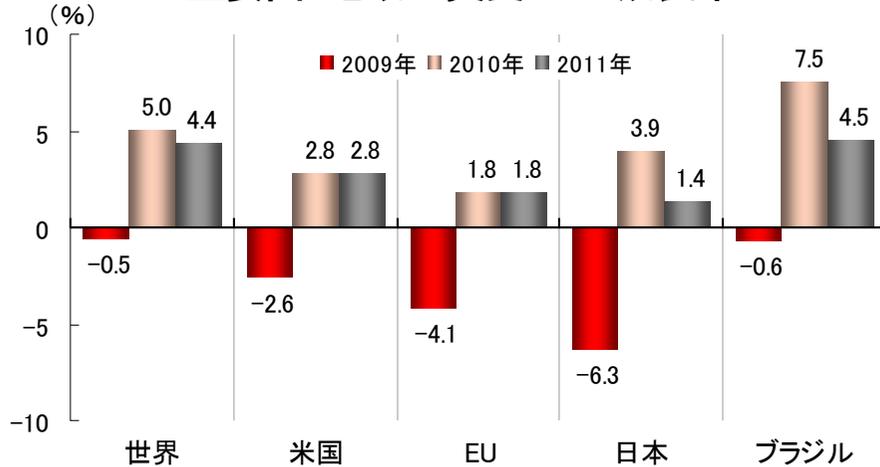
－ リオデジャネイロが2016年夏季オリンピック開催地に決定



リオデジャネイロのコルコバードの丘の上から海岸線を望む

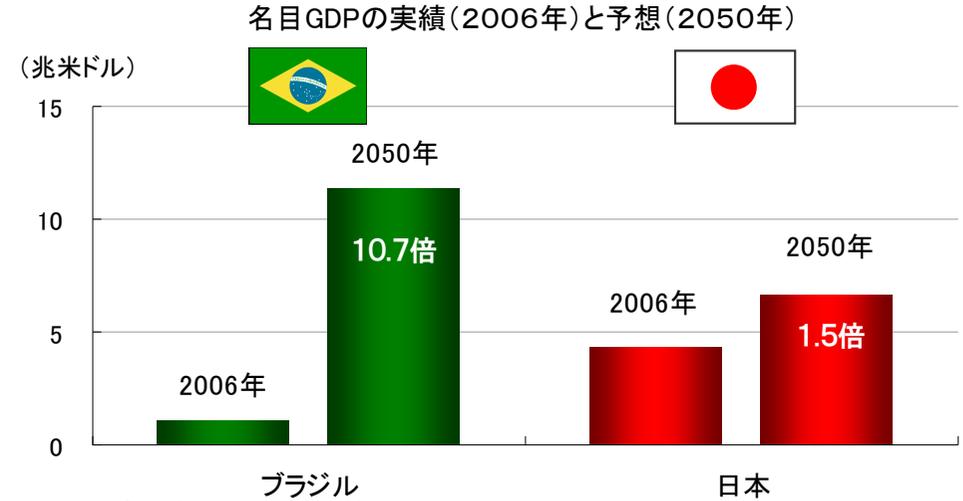
成長軌道に乗った経済 ①さらに期待される経済成長

主要国・地域の実質GDP成長率



出所：IMF World Economic Outlook Database (April 2011) のデータをもとにHSBC投信が作成、IMF予想を含む

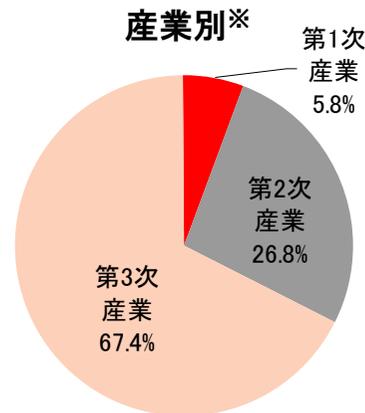
大きな潜在成長力



注：倍率は2006年数値対比
出所：Goldman Sachs “BRICs and Beyond”(2007)のデータをもとにHSBC投信が作成

GDP構成比率(2010年)

需要項目別	比率 (%)
家計消費	60.6%
政府消費	21.2%
固定資本投資	18.4%
在庫変動	0.8%
純輸出	-1.0%
計	100.0%



※ 第1次産業は「農業」、「林業」、「漁業」、第2次産業は「鉱業」、「建設業」、「製造業」、第3次産業は前記以外の産業

*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

出所：ブラジル地理統計院(IBGE)のデータをもとにHSBC投信が作成

豊富な資源

農畜産物世界生産ランキング(2008年)

サトウキビ	1位
コーヒー	1位
オレンジ	1位
大豆	2位
牛肉	2位
鶏肉	3位

出所：国連食糧農業機関(FAO)

石油

2006年に自給率100%達成

出所：OECD/IEA, 2006, “THE ENERGY SITUATION IN BRAZIL: AN OVERVIEW”

鉱物 世界生産ランキング(2010年)

ニオブ*1	1位
タンタル*2	1位
鉄鉱石	3位
ボーキサイト*3	3位

*1 超伝導素材 / 鉄鋼添加剤

*2 蓄電器、人工骨、人工歯根に利用

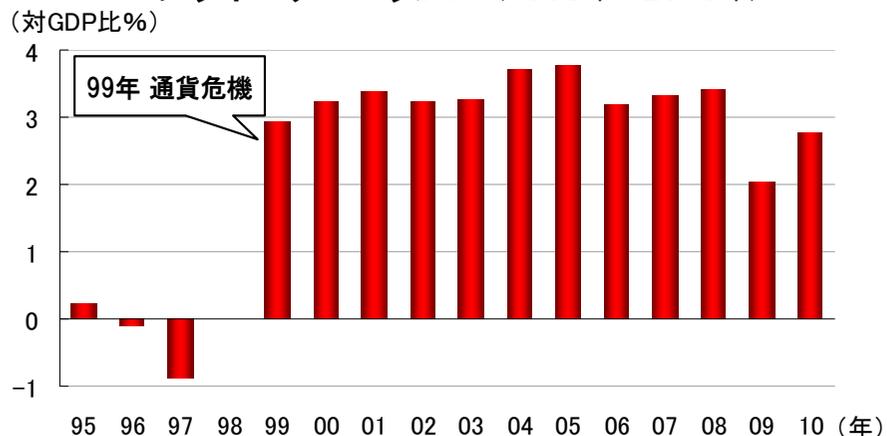
*3 アルミニウムの原料

出所：米国地質調査所(US Geological Survey)のデータをもとにHSBC投信が作成

成長軌道に乗った経済 ②信用力が向上

- ▶ IMF主導の財政再建によりプライマリーバランス(基礎的財政収支)の黒字基調が定着
- ▶ 対外債務問題を克服、純債権国に

プライマリーバランス (1995年～2010年)

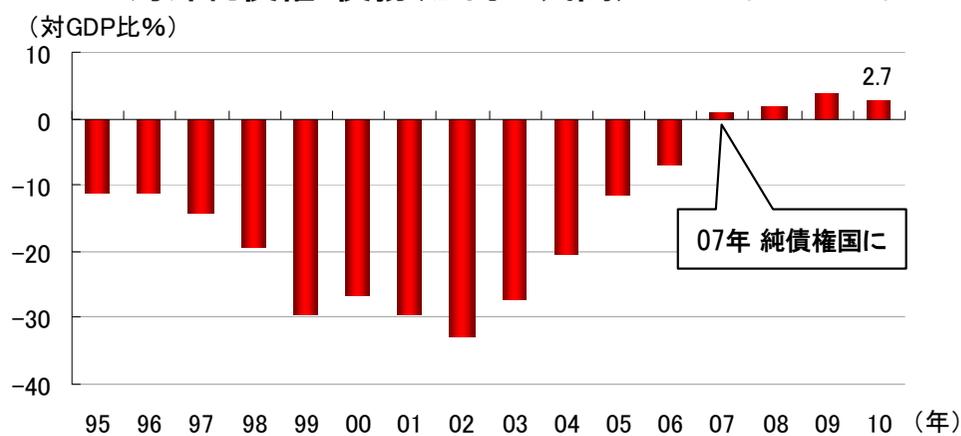


プライマリーバランスとは？

国や地方自治体等の収入と支出のバランスをみる指標の1つ。税収入から財政支出(公的債務の元利金支払いを除いたもの)を引いたもの。

出所：ブラジル中央銀行のデータをもとにHSBC投信が作成

対外純債権・債務(公的+民間) (1995年～2010年)



出所：ブラジル中央銀行のデータをもとにHSBC投信が作成

外貨準備高 (1995年～2010年)



* 輸入カバー月数：外貨準備高を月平均輸入額で割ったもの。一般的に新興国は6ヶ月以上が妥当とされている。

出所：ブルームバーグ、IMFのデータをもとにHSBC投信が作成

三大格付機関が投資適格級の格付を付与

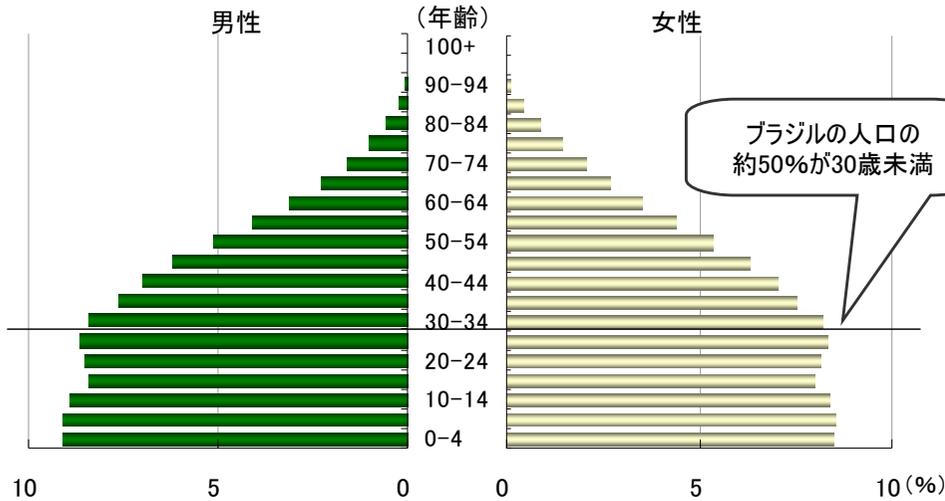
(2011年4月末)

格付機関	外貨建長期国債格付	更新日
スタンダード&プアーズ	BBB-	2008年4月30日
フィッチ・レーティングス	BBB	2011年4月4日
ムーディーズ・インベスターズ・サービス	Baa3	2009年9月22日

出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

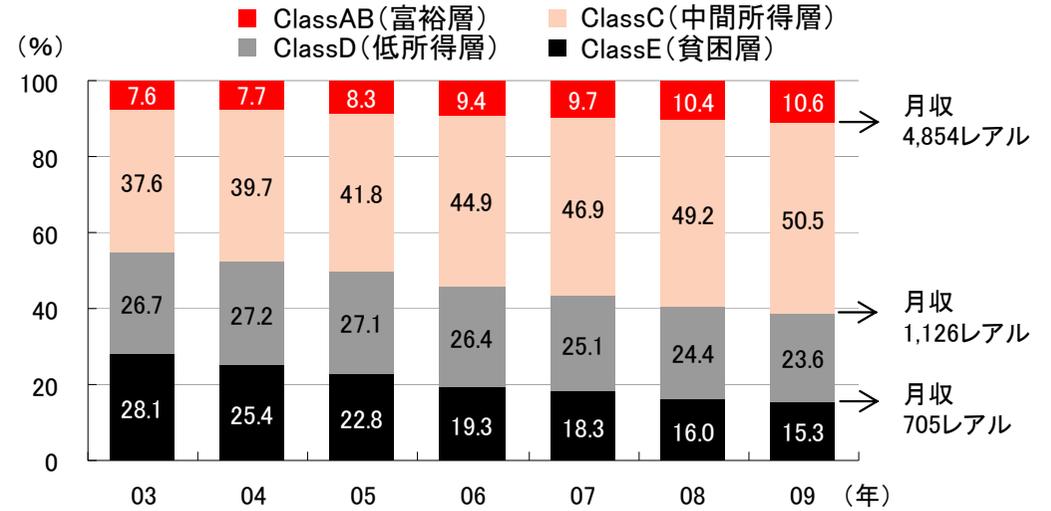
成長軌道に乗った経済 ③個人消費が成長を牽引

ブラジルの人口ピラミッド (2011年推計値)



出所：U.S. Census Bureau International Data BaseのデータをもとにHSBC投信が作成

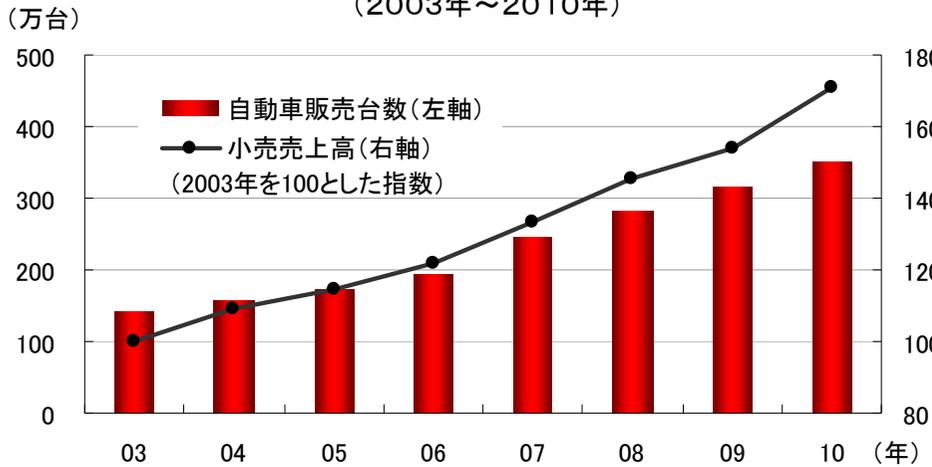
所得階層別構成比の推移(全人口に対する割合) (2003年～2009年)



注：階層分けはIBGEの定義による

出所：ブラジル地理統計院 (IBGE) のデータをもとにHSBC投信が作成

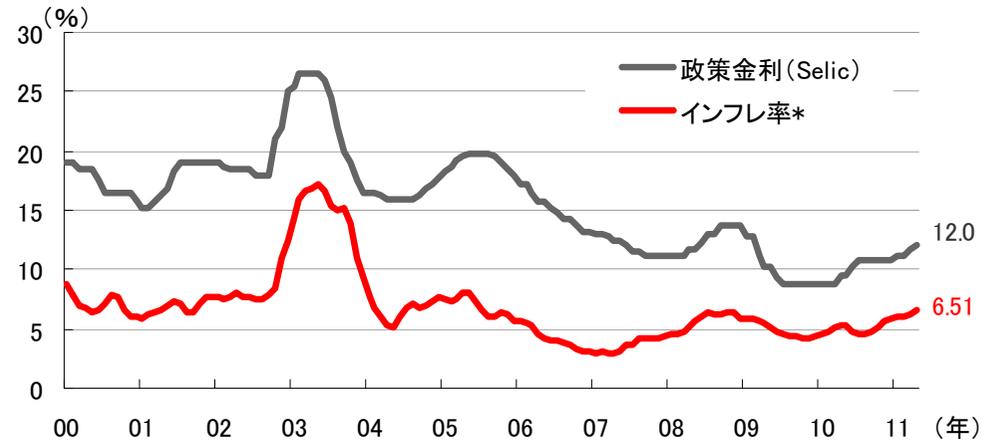
小売売上高と自動車販売台数の推移 (2003年～2010年)



出所：小売売上高はブラジル地理統計院 (IBGE)

自動車販売台数はブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

政策金利、インフレ率の推移 (2000年1月～2011年4月)



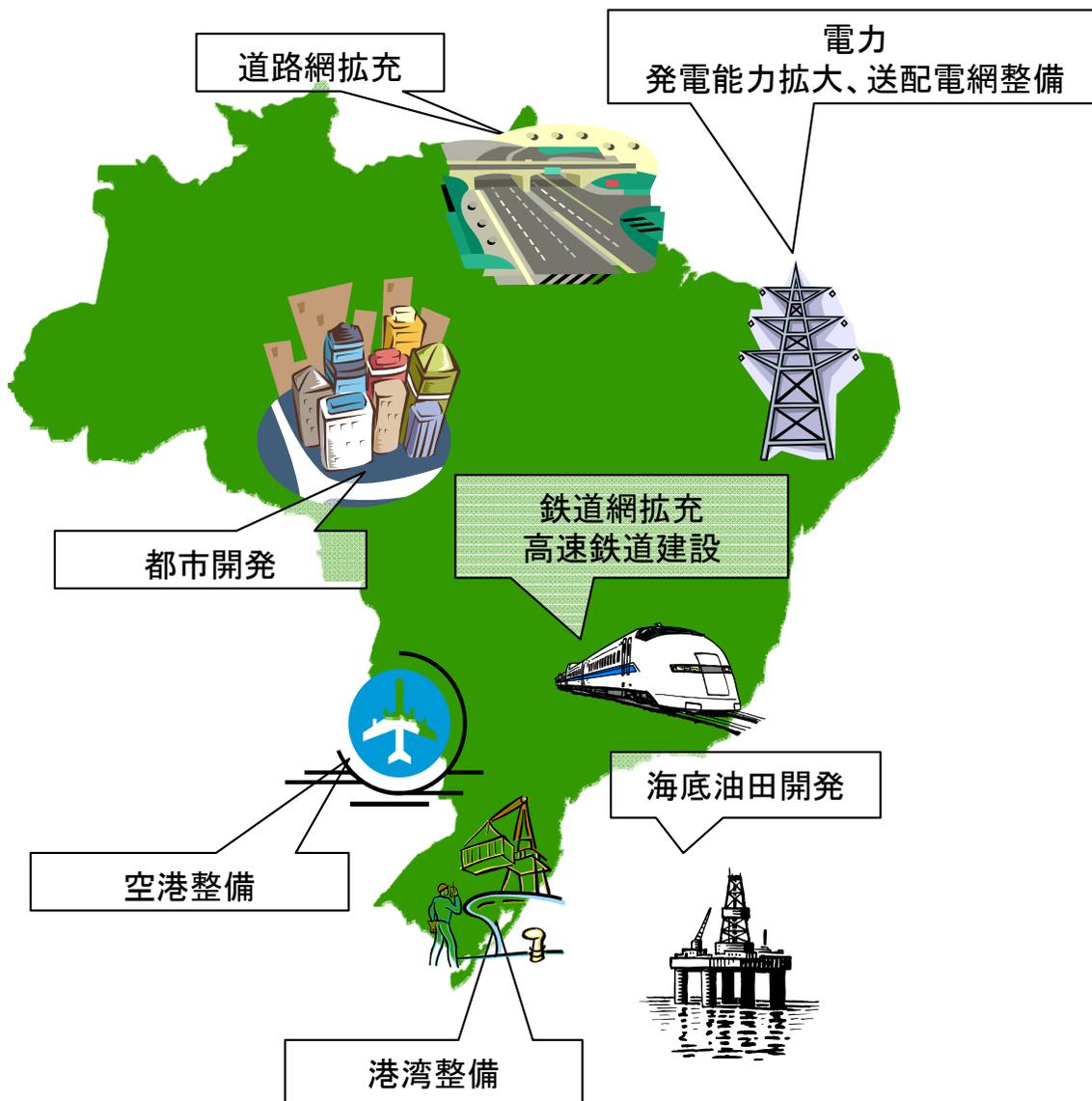
* インフレ率: 拡大消費者物価指数 (IPCA) 上昇率 (前年同月比)

出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

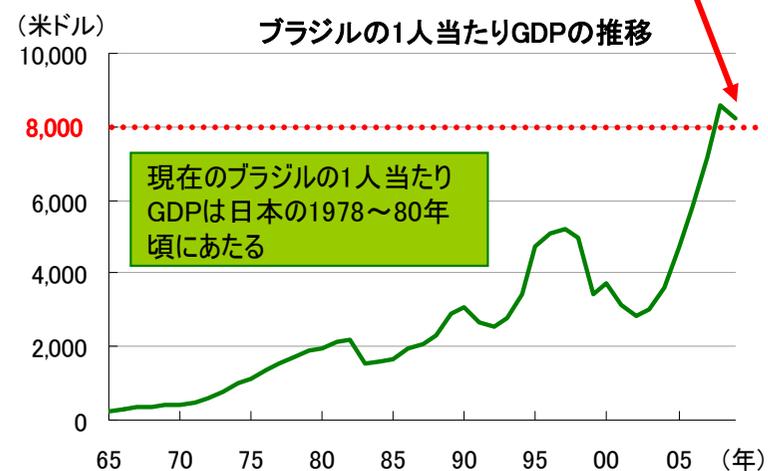
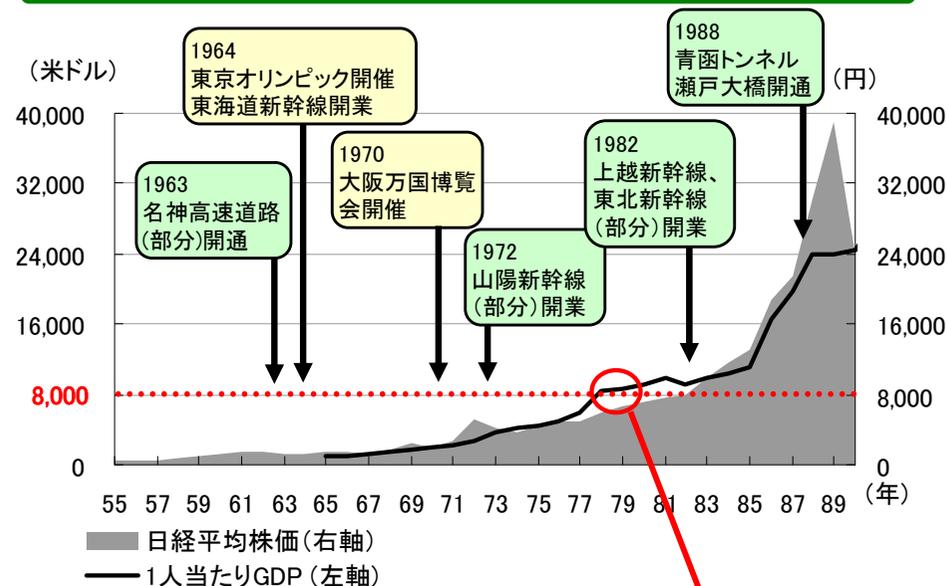
インフラ整備と新興国の経済成長

▶ インフラとは

インフラストラクチャーの略で、道路、鉄道、港湾、空港、灌漑、電力、通信、不動産、住宅建設など、経済発展のために不可欠な社会基盤のことです。



日本の経済発展とインフラ整備

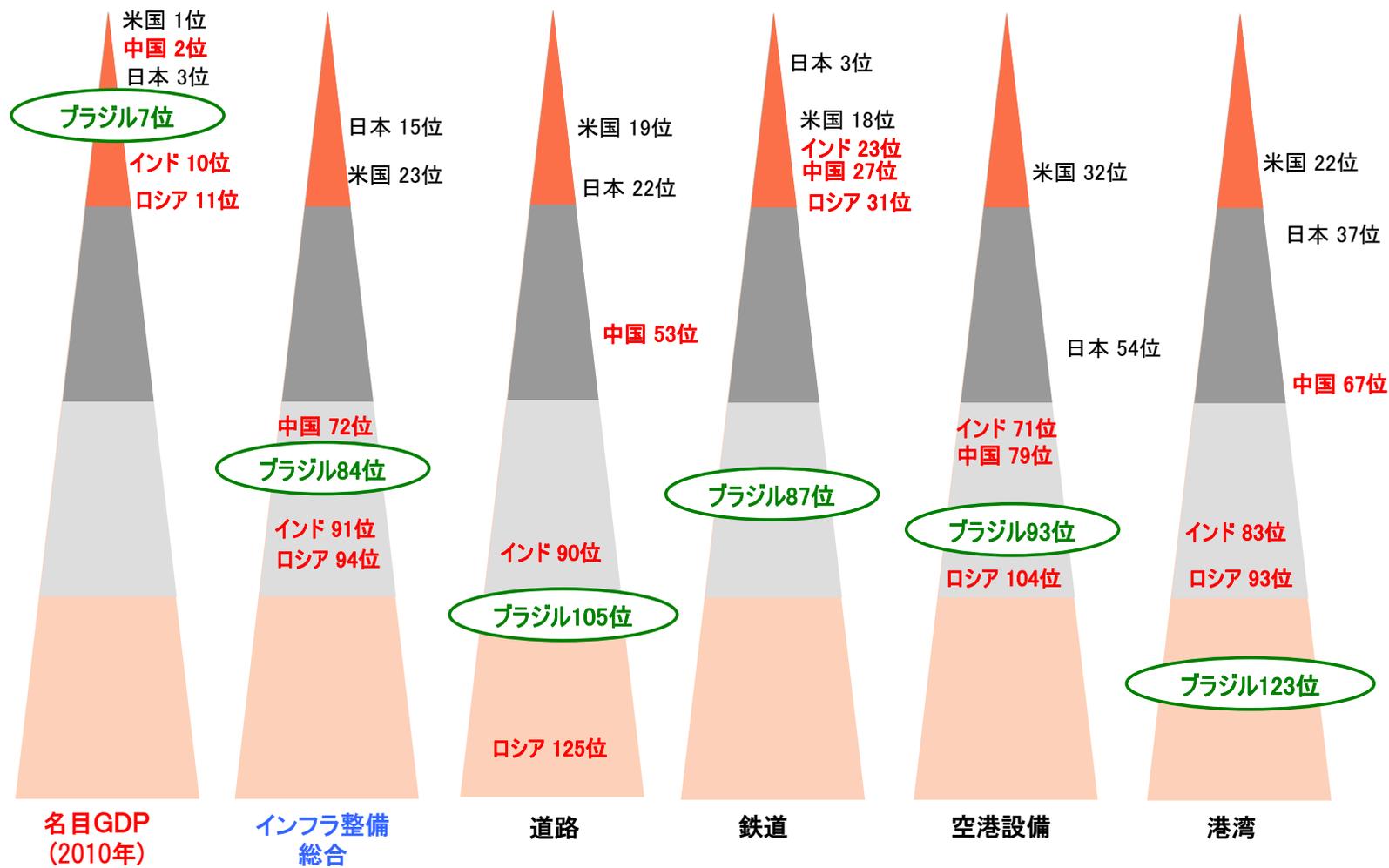


出所：世界銀行、ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

インフラ整備は経済成長のための重要課題

▶ 世界第7位の経済規模に比べブラジルのインフラ整備状況はなお低水準。インフラ拡充への投資は急務。

インフラ整備状況の国際比較：調査対象139ヶ国中の順位



通勤時の大渋滞 サンパウロ
2008年 HSBC投信撮影



近代的デザインのリオデジャネイロ
国内線空港ターミナル
2008年 HSBC投信撮影

出所：世界経済フォーラム「国際競争力レポート2010-2011」、IMF World Economic Outlook Database (April 2011) のデータをもとにHSBC投信が作成

「当ファンドの主なリスク」および「留意点」については、20～21ページをご覧ください。

大型インフラ投資計画 ①成長促進プログラム、輸送網整備

成長促進プログラム(PAC、PAC2)

PAC、PAC2とは、政府が発表した経済成長の促進を目的として、**道路・鉄道など輸送網整備関連、エネルギー関連、社会・都市基盤関連に投資**を行う計画です。

PACは、2007年から2010年のインフラ計画であり、6,460億レアル(約34兆円※)が投資されました。

PAC2として2011年以降、1兆5,864億レアル(約83兆円※)の投資が計画されています。

政府発表の成長促進プログラム(PAC2)の投資予定額

	2011-2014年 (億レアル)	2015年以降 (億レアル)	合計 (億レアル)
輸送網整備関連	1,045	45	1,090
エネルギー関連	4,616	6,269	10,885
社会・都市基盤関連	3,889	—	3,889
合計	9,550	6,314	15,864
円換算※	約50兆円	約33兆円	約83兆円
2010年名目GDP比	26.1%	17.2%	43.3%

※ 1レアル=52.26円で換算(2011年4月末現在 投資信託協会)

出所: PAC運営委員会の資料(2011年4月末時点)をもとにHSBC投信が作成

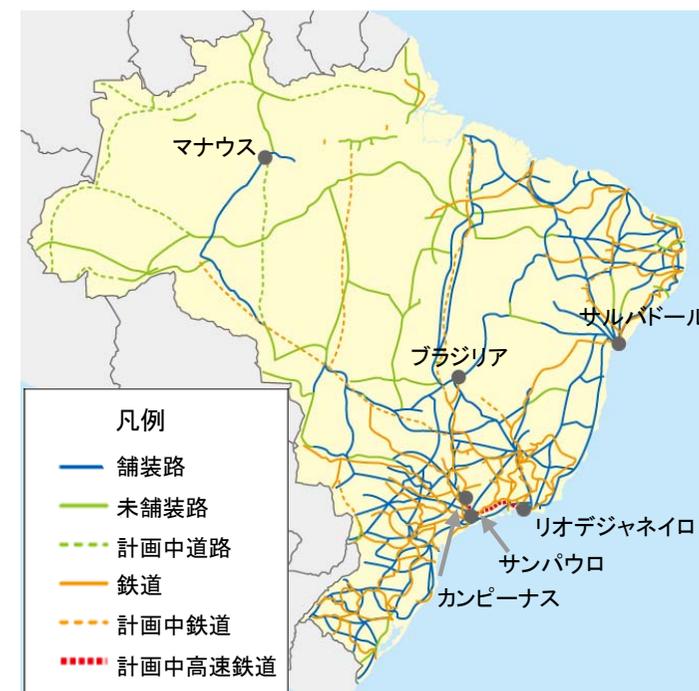
輸送網整備

▶ 鉄道網

- 高速鉄道建設計画。2015年開通予定。
- カンピーナス～サンパウロ～リオデジャネイロ、総延長550km、総工費 346億レアル(約1.8兆円※)

▶ 道路網

- 主要幹線道路を除いて整備状況は良好ではない
- 舗装率は約13%



※ 1レアル=52.26円で換算(2011年4月末現在 投資信託協会)

出所: HSBCバンク ブラジル エス エイ-Banco Múltiplo、日本自動車工業会(2007年)の資料をもとにHSBC投信が作成

大型インフラ投資計画 ②エネルギー

▶ 大規模海底油田開発プロジェクトの推進

- 成長促進プログラム(PAC、PAC2)の下で、石油大手ペトロブラスによる大型海底油田開発プロジェクトが進行中
- 投資予定額は2009～2010年は560億米ドル(約4.6兆円※)、2011年以降は3,430億米ドル(約28.2兆円※)
- 深海油田の推定埋蔵量は250～1,000億バレル



海底油田掘削プラットフォーム

※1米ドル=82.08円で換算(2011年4月末現在 投資信託協会)
出所：ペトロブラス、米外交専門誌「Foreign Policy」

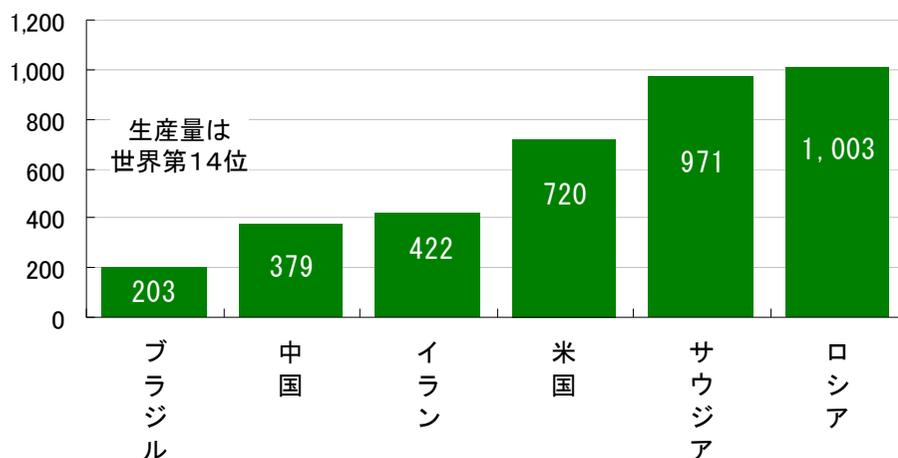
250～1,000億バレルの規模とは？

2009年の日本の石油の年間消費量は16億バレル、その16～63倍相当の規模

出所：BP Statistical Review of World Energy 2010のデータをもとにHSBC投信が算出

世界の原油生産量(2009年)

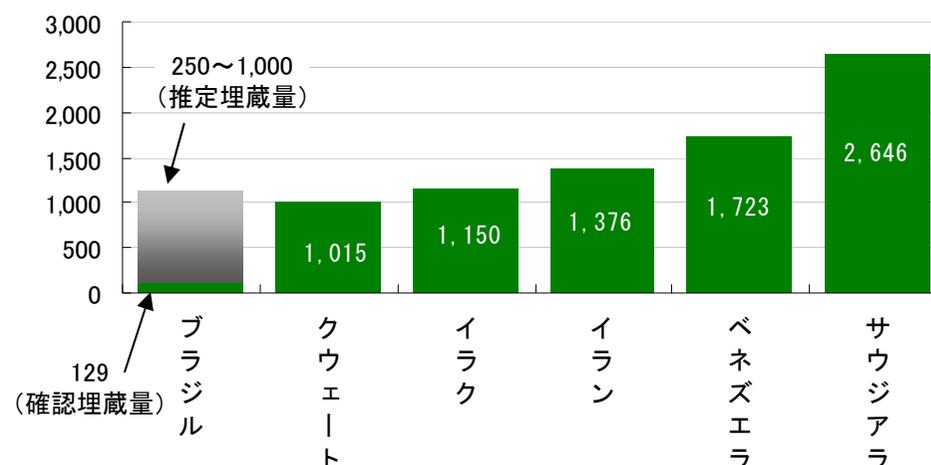
(万バレル/日)



出所：BP Statistical Review of World Energy 2010のデータをもとにHSBC投信が作成

世界の原油埋蔵量(2009年末)

(億バレル)



出所：原油埋蔵量：BP Statistical Review of World Energy 2010
ブラジルの深海油田推定埋蔵量：米外交専門誌「Foreign Policy」のデータをもとにHSBC投信が作成

「当ファンドの主なリスク」および「留意点」については、20～21ページをご覧ください。

大型インフラ投資計画 ③ サッカーワールドカップ、オリンピック

2014年サッカーワールドカップの開催地(12都市)と 2016年オリンピック開催地リオデジャネイロ



2014年サッカーワールドカップへ向けた投資

- ▶ 連邦政府及び地方政府がワールドカップ開催に向けて計1,334億レアル(約5.9兆円※)のインフラ投資を計画
- ▶ 主要投資対象分野
 - 都市交通基盤(空港、港湾、道路、鉄道など)
 - ホテル
 - スタジアム

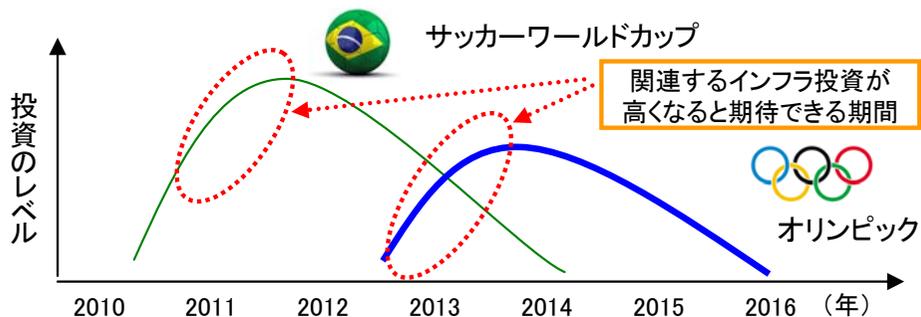


出所：ブラジルインフラ基礎産業協会、JETROのデータをもとにHSBC投信が作成

リオデジャネイロのマラカナンスタジアム

開催時期とインフラ投資計画

- ▶ スポーツイベントに関するインフラ投資は、計画、工事の実施を考慮して、今後数年間での投資に注目



注：当イメージ図は、スポーツイベントと関連するインフラ投資を分かりやすく説明するためにHSBC投信が作成した図です。実際の状況とは異なる場合があります。

2016年オリンピックへ向けた投資

- ▶ 125億レアル(約6,500億円※)のオリンピック関連インフラ投資入札計画を発表
 - オリンピック村等の宿泊施設に26億レアル(約1,400億円※)
 - 競技施設に15億レアル(約800億円※)
 - 輸送網建設に75億レアル(約3,900億円※)



※1レアル=52.26円で換算(2011年4月末現在 投資信託協会)
出所：ブラジル会計検査局(CGU)のデータをもとにHSBC投信が作成

「当ファンドの主なリスク」および「留意点」については、20～21ページをご覧ください。

ブラジルの主要インフラ関連企業

▶ 素材関連企業

鉄鉱石、銅、ニッケル等の鉱物資源採掘企業、また、その精錬・製造・加工等を手掛ける企業

企業例：ヴァリ(総合資源開発会社。主力の鉄鉱石の産出では世界一)、

ウジナス(大手製鉄会社。1958年に日本とブラジルの合弁として設立、現在も新日鉄など日本勢が出資)

ゲルダウ(電炉中心の大手製鉄会社。ブラジル国内のほか米国、アルゼンチン、チリなど海外で積極的に事業を展開)



▶ 運輸関連企業

道路、鉄道、港湾、空港の建設、また、陸運、海運、旅客、貨物輸送を展開している企業

企業例：コンセソンエス・ロドピアアス(ブラジル最大の道路運営会社)



▶ 資本財関連企業

建設、土木および重機、産業機械、大型輸送機器等の製造を手掛ける企業

企業例：ミルズ・エストゥルトゥラス・エ・セルビソス(建築・造船用足場の設置、関連機器のレンタル・販売)

マルコポーロ(世界展開を行っている産業用トラック、バス車体製造会社)



▶ エネルギー関連企業

原油、天然ガス、石炭等のエネルギー関連事業(油田探索や採掘設備製造等を含む)を展開している企業

企業例：ペトロブラス(採掘、生産、精製から販売までを手掛ける大手総合石油会社)

OGX・ペトロレオ・イ・ガス(石油・天然ガスの探査・採掘を手掛ける大手石油・ガス会社)

▶ 公益事業関連企業

電力・ガス、水処理(下水道処理等)、その他公的なサービスを展開している企業

企業例：ミナスジェライス電力(CEMIG)(水力発電を主力とする大手電力会社)

エレクトロパウロ・メトロポリターナ(サンパウロ市及び周辺都市圏で配電する大手電力会社)



▶ その他関連企業

金融機関、不動産関連(住居用、商業用不動産開発)、電気通信サービス(固定電話、携帯電話サービス)等

企業例：BRモルス(ブラジル全土でショッピングモール関連サービスを提供)

ブラジル銀行(創業1808年の国営商業銀行。日本にも支店あり)

※上記銘柄は代表的なインフラ関連銘柄であり、当ファンドに必ずしも組み入れられている銘柄ではありません。また、個別の銘柄を推奨するものではありません。銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

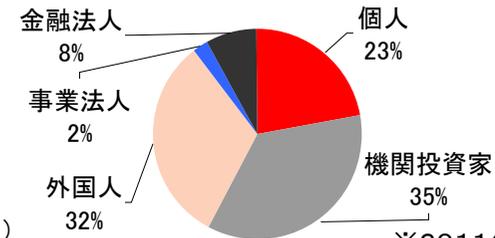
ブラジルの株式市場①

サンパウロ証券取引所の概要

- ▶ 上場企業数 375
- ▶ 時価総額 約1兆5,834億米ドル(約130.0兆円※)
- ▶ 略称 ボベスパ
(Bolsa de Valores de São Paulo
ポルトガル語で「サンパウロ証券取引所」の意味)

出所：サンパウロ証券取引所、2011年4月末現在、※1米ドル=82.08円で換算(2011年4月末現在 投資信託協会)

市場参加者比率



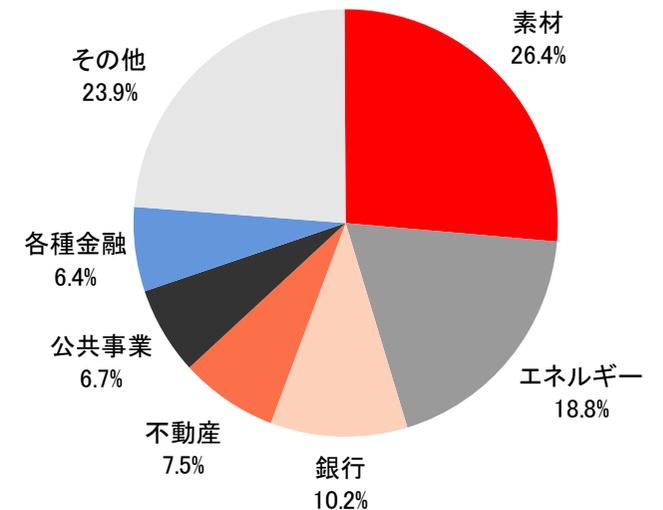
※2011年4月の月間売買高ベース

ブラジル株式市場を代表するボベスパ指数

ボベスパ指数構成上位10銘柄

名称	概要	業種	比率
1 ヴァリ	総合資源開発会社。主力分野の鉄鉱石の産出では世界一	素材	13.6%
2 ペトロプラス	国営石油会社。採掘、精製から販売、供給まで手がける総合石油企業	エネルギー	13.3%
3 OGXペトロリオ・イ・ガス	石油・天然ガスの探査・採掘を手がける	エネルギー	4.3%
4 イタウ・ユニバンク	イタウ銀行とユニバンクが合併し南米最大の民間銀行が誕生	銀行	3.8%
5 BM & F ボベスパ	サンパウロ商品・証券取引所	各種金融	3.5%
6 ウジナス	大手製鉄会社。1958年に日伯合併として設立	素材	3.1%
7 ブラデスコ銀行	ブラジルを代表する大手民間商業銀行の一つ	銀行	2.9%
8 ブラジル銀行	創業1808年の国営商業銀行。日本にも支店あり	銀行	2.7%
9 ゲルダウ	電炉中心の大手製鉄会社。ブラジル国内のほか、米国、アルゼンチン、チリなど海外で積極的に事業を展開	素材	2.6%
10 PDGリアルティ	住宅用不動産の開発、商業用不動産など幅広く事業を行う不動産投資会社	不動産	2.4%
構成銘柄数			69

ボベスパ指数のセクター別構成比



*表示単位未滿を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

注：上記は企業の概要説明であり、個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

出所：ブルームバーグのデータをもとに HSBC投信が作成、2011年4月末現在

「当ファンドの主なリスク」および「留意点」については、20～21ページをご覧ください。

ブラジルの株式市場②

ボベスパ指数の推移

(1999年1月～2011年4月末)



出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

レアル(対円)の推移

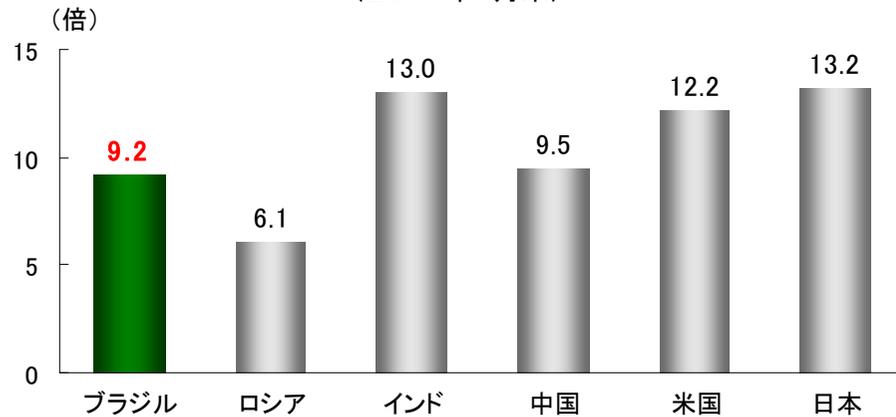
(1999年1月～2011年4月末)



出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

予想株価収益率

(2011年4月末)

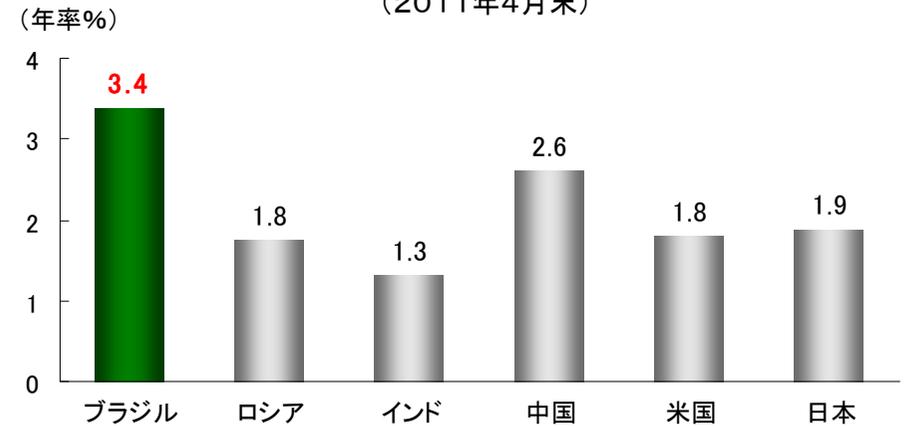


注：ブラジル ボベスパ指数、ロシア RTS指数、インド SENSEX30指数、中国 H株指数、米国 S&P500指数、日本 日経平均株価(日経225)

出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

配当利回り

(2011年4月末)

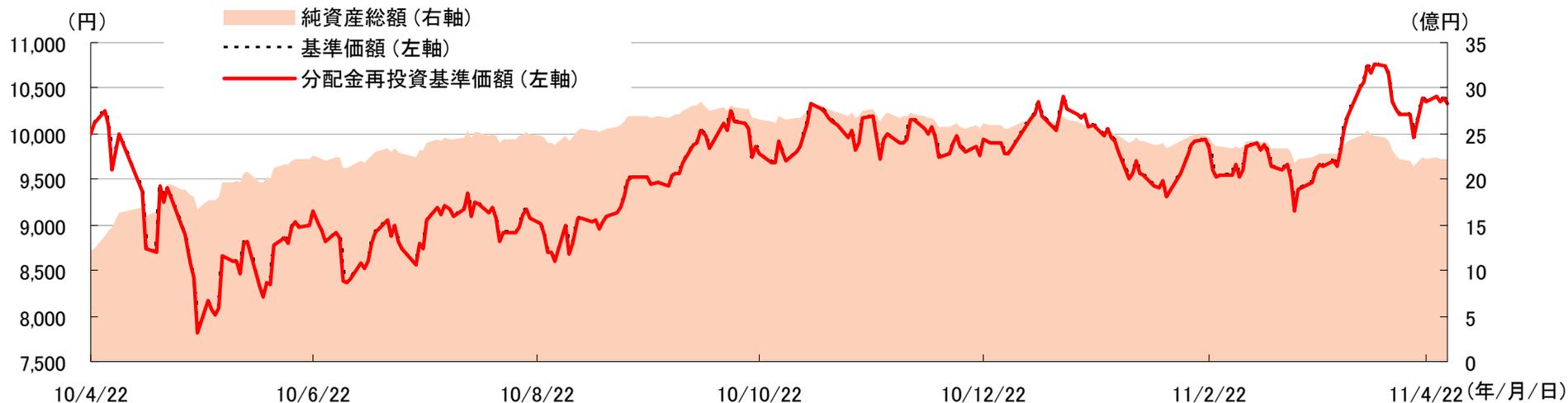


注：ブラジル ボベスパ指数、ロシア RTS指数、インド SENSEX30指数、中国 H株指数、米国 S&P500指数、日本 日経平均株価(日経225)

出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

HSBC ブラジル・インフラ株式オープンの概要（2011年4月末現在）

基準価額と純資産総額の推移（2010年4月22日～2011年4月末）



注：基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。上記は過去のパフォーマンスであり、当ファンドの将来の運用成果を示唆するものではありません。

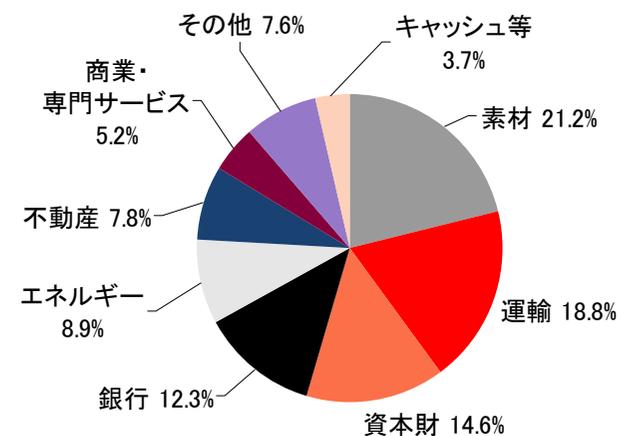
組入上位銘柄と対純資産組入比率（マザーファンド）

順位	銘柄名	業種	比率
1	ヴァリ	素材	11.5%
2	ペトロブラス	エネルギー	7.2%
3	コンセツソンエス・ロドビアリアス	運輸	6.3%
4	ゲルダウ	素材	6.0%
5	エコロドビアス	運輸	5.2%
6	BRモルス	商業・専門サービス	5.2%
7	ミルズ・エストウルトゥーラス・エ・セルビソス	資本財	5.0%
8	マルコポーロ	資本財	4.2%
9	ブラジル銀行	銀行	4.1%
10	デュラテックス	素材	3.7%
組入銘柄数			25

*各銘柄の組入比率は、普通株、優先株、ADR、GDRなど異なる種類の株式を合算したものです。

*銘柄名は、情報サービス業者の表記を参考にHSBC投信が翻訳したものであり、発行体の公式な和文名称と異なる場合があります。

業種別組入比率（マザーファンド）



*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

「当ファンドの主なリスク」および「留意点」については、20～21ページをご覧ください。

ブラジル投資に関する固有のリスク

▶ 経済環境悪化リスク

- 資源価格、農産品価格の下落
- 欧米、中国などの経済低迷による輸出の大幅な減少

▶ インフレリスク

- 金利が上昇し、企業活動・個人消費が低迷する可能性
- 低所得者層が打撃を受け生活が困窮化、貧困層救済のための社会保障費増などによる財政収支の悪化

▶ 政治リスク

- 政治的な安定性が低下する可能性
- 対外関係(IMFなど国際金融界、メルコスール※¹の域内関係)悪化の恐れ

※¹ メルコスール: 1995年にブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイの4ヶ国で発足した南米南部共同市場。その後、ベネズエラが加盟。
準加盟国はチリ、ボリビア、ペルー、エクアドル、コロンビア。域内関税を原則撤廃、対外共通関税を設定。

▶ 税制変更リスク

- 非居住者によるブラジル国内株式購入時の外国為替取引に、金融取引税※²が課されています。将来、その税率が変更または、関係法令が改正される可能性

※² 日本や海外の投資者がブラジル国内のブラジル・リアル建債券や株式を購入するために、外貨(日本円、米ドル等)からブラジルリアルに交換する際の為替取引等に対して課される税金のことです。影響については、HSBC投信ホームページの週報・月報等をご覧ください。

HSBC バンク ブラジル エス エイ – Banco Múltiplo 株式運用体制

▶ マザーファンドの投資プロセス

流動性スクリーニング
社内エコノミストからの内外のマクロ経済情勢インプット

マネジメント、コーポレート・ガバナンス、バランス・シートの質などから更に銘柄を絞り込み

アナリストチームによる個別企業分析
各種投資指標から適正価格を算出

期待収益率、バリュエーションから銘柄選択

ポートフォリオ

▶ ブラジル株式運用チーム

エコノミスト

セクター
アナリスト

クレジット
アナリスト

ファンド
マネジャー

ディーラー



運用チームのあるサンパウロの本部

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本(元金)が保証されている金融商品ではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。当ファンドは、主に外国株式を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格の変動や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資するため、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

1. 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、これが繰り返される傾向にあります。現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

2. 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

3. 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。

4. 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

5. カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

6. 投資対象国における税制変更にかかるリスク

ブラジル国内の有価証券投資については、非居住者に対して金融取引税*が課されることがあります。当該関係法令が改正された場合等には、基準価額が影響を受ける可能性があります。

* 日本や海外の投資者がブラジル国内のブラジル・レアル建ての債券や株式を購入するために、外貨(日本円、米ドル等)からブラジルレアルに交換する際の為替取引等に対して課せられる税金のことです。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ 当ファンドのお申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身でなさいますようお願い申し上げます。

留 意 点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料(販売会社固有情報部分を除きます。当該情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)です。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績を示したものであり将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)は全て投資者の皆様へ帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。お申込みに当たっては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を必ずお受け取りの上、内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 HSBC投信株式会社	投資顧問会社 (運用委託先) HSBC バンク ブラジル エス エイ- Banco Múltiplo
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	委託会社よりマザーファンドの運用指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注を行います。
受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	販売会社※
当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、換金申込の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、換金代金および償還金の支払等を行います。

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、表紙の左下の「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は」をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。また当ファンドの販売会社につきましては、以下の照会先でご確認いただけます。

照会先

HSBC投信株式会社	電話番号	ホームページ
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会／(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会	03-3548-5690	www.assetmanagement.hsbc.com/jp

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	購入代金は、販売会社が個別に定める期日までに、販売会社に支払うものとします。 *購入代金とは、購入金額(購入価額×購入口数)に購入時手数料(税込)を加えた金額です。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。
購入の申込期間	平成23年7月9日から平成24年7月9日まで(当該期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金の申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止及び取消しを行う場合があります。
信託期間	無期限(信託設定日:平成22年4月22日)
繰上償還	ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年4月10日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
信託金の限度額	5,000億円
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	決算時及び償還時に委託会社が作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時及び償還時の差益に対して課税されます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
申込受付不可日	国内の営業日であっても、サンパウロ証券取引所が休場日の場合には、購入及び換金の申込受付は行いません。
その他	基準価額(1万口当たり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「ブラインフラ」の略称で掲載されます。

当ファンドにかかる費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入時にご負担いただきます。 購入金額に3.675% (税抜3.5%) を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額 (換金時)
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して、年1.995% (税抜年1.90%) 運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 (税抜年1.90%の内訳: 委託会社1.13%、販売会社0.71%、受託会社0.06%) ※委託会社に対する運用管理費用には、運用委託先への報酬が含まれています。
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中その都度ファンドから支払われます。 (1) 有価証券売買委託手数料 / 外貨建資産の保管費用 / 借入金利息、融資枠設定に要する費用 / 信託財産に関する租税 (ブラジルにおける金融取引税を含みます。)、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等 (2) 投資信託振替制度に係る手数料及び費用 / 法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用 / 当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用 / 法定書面の作成、印刷、交付に係る費用 / 監査報酬及び法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等 ((2)の項目については毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、純資産総額に対し上限年0.2%としてファンドより支払われます。) ※運用状況等により変動するため、事前に上限額等を表記できません。

※手数料等の費用総額については、投資者の皆様のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。